

平成25年度 見学会報告

本年度は6月26日(水)に静岡製薬協会の見学会を開催しました。
今年度は、静岡県内の企業である、アサヒ飲料株式会社 富士山工場及びキリンディスティラリー 御殿場蒸留所を選定し、会員会社(28社60名)、県薬事課(2名)及び事務局(1名)の総勢63名が参加のもと、見学を行いました。

アサヒ飲料株式会社 富士山工場は、富士宮に位置し、約89000m²の敷地をもち、2001年から生産を開始しています。包装ラインとしては日本最速ラインを有し、2300万ケース/年を製造。主に飲料用の水とアサヒ十六茶を生産しています。到着後ホールにて工場の概要説明を受けたのちに、見学エリアから両製造ラインの見学をさせていただきました。



工場長さんの挨拶



説明を受ける参加者の皆さん



製造ラインは、アイソレーターを使った充てん室や大きな包装室にほとんど人はいない状態で、ほぼ完全無人化されていることなど驚かされる点多々ありました。

製薬協会の参加会員の方からの色々な質問も丁寧に対応していただき、参加された方々から、他社工場を見て自分たちの日頃の管理や作業に役立てたいといった目的あった情報収集の場にもなり、アサヒ飲料株式会社様の対応に大変ありがたく思いました。

キリンディスティラリー 御殿場蒸留所は 1973 年に創業された古い歴史を持ち、モルトウイスキーとグレーンウイスキーの仕込みからボトリングまでを一貫して行う、世界でも珍しい蒸溜所です。

見学当日は、残念ながら整備日であることで、実際の作業を行っているところは見ることができませんでしたが、蒸留所の概要説明をしていただいた後に、製造工程の見学ツアーを行いました。見学においてウイスキーが蒸留後、樽に詰めて長い年月をかけて保管・熟成したのちに瓶に詰められていく工程を見学しました。その長い熟成される過程で少しずつウイスキーが減っていくことを「天使の分け前」というそうです。



キリンディスティラリー 御殿場蒸留所



見学後の風景

今回、見学をさせていただいた両工場共に、資源の再利用はもとより汚染防止など自然環境への取り組みをかなり進めており、ものを製造する企業として社会に対する責任を積極的に取り組まれていることを強く感じました。

今回の製薬協会の見学会を通じて、会員相互の交流をより一層深めることができたと思います。

今後も有意義な見学会が企画できるように検討していきたいと思います。